

「SDGs未来都市」及び 「自治体SDGsモデル事業」の選定について

令和3年7月2日

西条市 経営戦略部

持続可能な開発目標 (SDGs)について

SDGsとは

SDGs(Sustainable Development Goals : 持続可能な開発目標)は、「誰一人取り残さない(leave no one behind)」持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標です。2015年の国連サミットにおいて全ての加盟国が合意した「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の中で掲げられました。2030年を達成年限とし、17のゴールと169のターゲットから構成されています。



SDGsの構造

17のゴールは、①貧困や飢餓、教育など未だに解決を見ない社会面の開発アジェンダ、②エネルギーや資源の有効活用、働き方の改善、不平等の解消などすべての国が持続可能な形で経済成長を目指す経済アジェンダ、そして③地球環境や気候変動など地球規模で取り組むべき環境アジェンダといった世界が直面する課題を網羅的に示しています。SDGsは、これら社会、経済、環境の3側面から捉えることのできる17のゴールを、統合的に解決しながら持続可能なよりよい未来を築くことを目標としています。

人間の安全保障との関連性

我が国は脆弱な立場にある一人一人に焦点を当てる「人間の安全保障」の考え方を国際社会で長年主導してきました。「誰一人取り残さない」というSDGsの理念は、こうした考え方も一致するものです。

SDGs達成に向けて

2019年9月に開催された「SDGサミット」で、グテーレス国連事務総長は、「取組は進展したが、達成状況には偏りや遅れがあり、あるべき姿からはほど遠く、今、取組を拡大・加速しなければならない。2030年までをSDGs達成に向けた「行動の10年」とする必要がある」とSDGsの進捗に危機感を表明しました。

2020年、新型コロナウイルス感染症が瞬く間に地球規模で拡大したことから明らかなように、グローバル化が進んだ現代においては、国境を越えて影響を及ぼす課題に、より一層、国際社会が団結して取り組む必要があります。

SDGs達成に向けた道のりは決して明るいものではありません。だからこそ、「行動の10年」に突入した今、私たち一人ひとりにできることをしっかりと考え、一歩踏み出す姿勢が求められています。

SDGsの特徴

前身のMDGs(Millennium Development Goals : ミレニアム開発目標)は主として開発途上国向けの目標でしたが、SDGsは、先進国も含め、全ての国が取り組むべき普遍的(ユニバーサル)な目標となっています。(図1)

しかしながら、これらの目標は、各国政府による取組だけでは達成が困難です。企業や地方自治体、アカデミアや市民社会、そして一人ひとりに至るまで、すべてのひとりの行動が求められている点がSDGsの大きな特徴です。

まさにSDGs達成のカギは、一人ひとりの行動に委ねられているのです。

(図1)



持続可能な開発目標 (SDGs) の詳細

	目標1【貧困】 あらゆる場所あらゆる形態の貧困を終わらせる		目標2【飢餓】 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養の改善を実現し、持続可能な農業を促進する
	目標3【保健】 あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する		目標4【教育】 すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する
	目標5【ジェンダー】 ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児のエンパワーメントを行う		目標6【水・衛生】 すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する
	目標7【エネルギー】 すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的なエネルギーへのアクセスを確保する		目標8【経済成長と雇用】 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する
	目標9【インフラ、産業化、イノベーション】 強靱(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る		目標10【不平等】 国内及び各国家間の不平等を是正する
	目標11【持続可能な都市】 包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する		目標12【持続可能な消費と生産】 持続可能な消費生産形態を確保する
	目標13【気候変動】 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる		目標14【海洋資源】 持続可能な開発のために、海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する
	目標15【陸上資源】 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する		目標16【平和】 持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する
	目標17【実施手段】 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化		

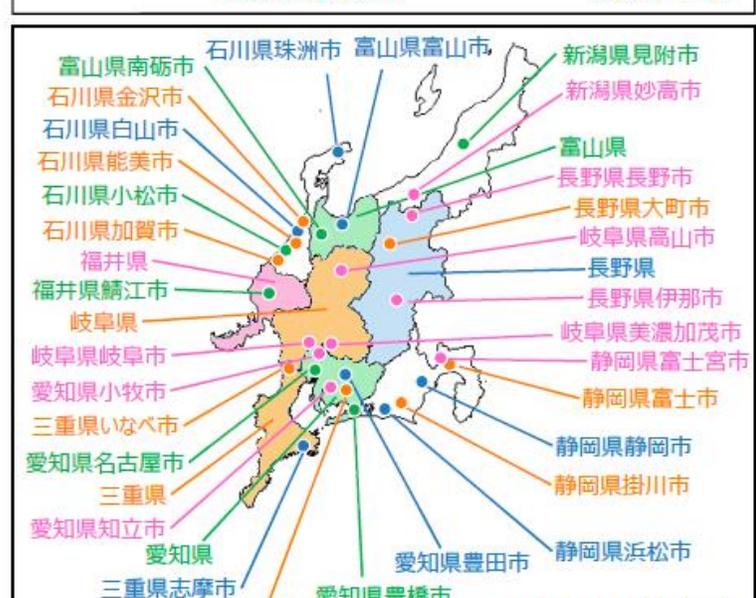
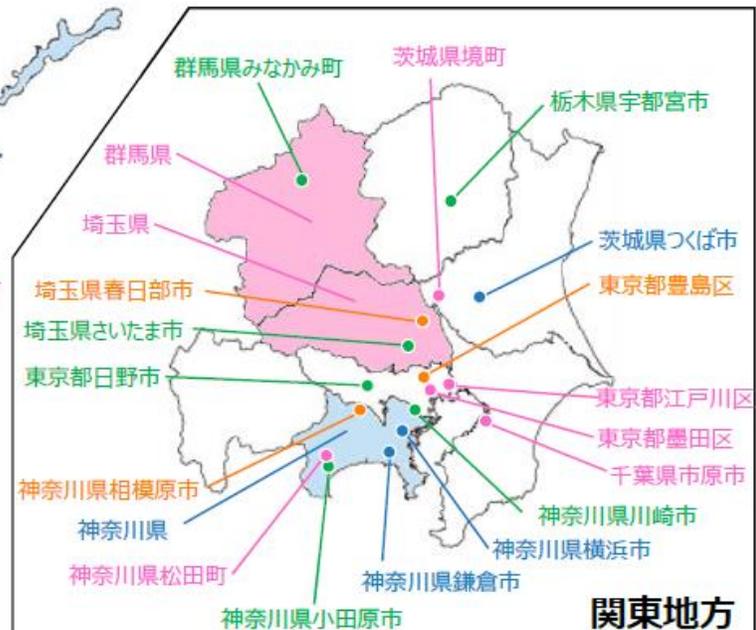
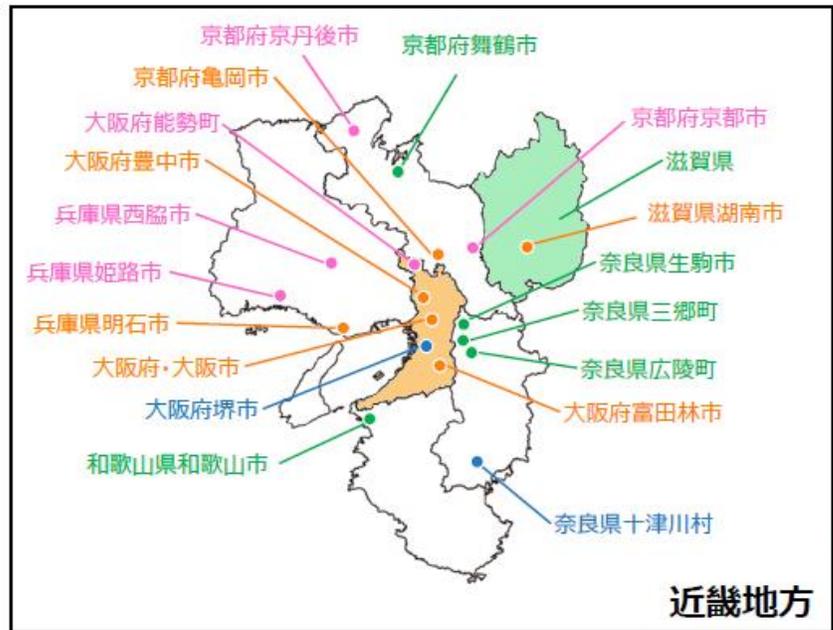
「SDGs未来都市」・「自治体SDGsモデル事業」選定証授与式

- 1 日時 令和3年5月21日（金）
- 2 場所 内閣府（オンラインで西条市役所と接続）
- 3 式次第
 - (1) 開式
 - (2) 選定都市の発表
 - (3) 選定証の授与（代表1都市）（代読／地方創生推進事務局長）
 - (4) 菅総理からの祝意メッセージ（代読／地方創生推進事務局長）
 - (5) 坂本地方創生担当大臣からの祝意メッセージ（ビデオ）
 - (6) 選定都市からの所信表明
 - (7) 閉式
- 4 参加者
 - ・ 令和3年度SDGs未来都市選定都市（西条市からは玉井市長が出席）
 - ・ 内閣府地方創生推進事務局長 ほか事務局職員
 - ・ （傍聴）自治体SDGs推進評価・調査検討会委員ほか

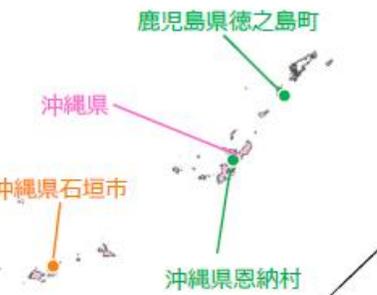
SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS



SDGs未来都市 所在地



桃色：2021年度
橙色：2020年度
緑色：2019年度
青色：2018年度
※県が選定されている場合は県全域を着色



※出典：国土地理院ウェブサイト (<https://maps.gsi.go.jp/>) の白地図をもとに内閣府作成

「SDGs未来都市」・「自治体SDGsモデル事業」について

概要

中長期を見通した持続可能なまちづくりのため、地方創生に資する、地方自治体による持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向けた取組を推進していくことが重要。

政府SDGs推進本部会合における安倍総理(当時)の指示を踏まえ、地方創生分野における日本の「SDGsモデル」構築を目指し、平成30年度スタート。令和3年5月21日、内閣府は自治体によるSDGsの達成に向けた優れた取組を提案する**31都市**を「SDGs未来都市」として選定。また、特に先導的な取組**10事業**を「自治体SDGsモデル事業」として選定。国はこれらの取組を支援するとともに、成功事例の普及展開等を行い、地方創生の深化につなげていく。

2021年度「SDGs未来都市」「自治体SDGsモデル事業」における取組・支援内容

SDGs未来都市 (31)

自治体SDGsモデル事業 (10)

①自治体のSDGs推進のための取組

②SDGs達成に向けた事業の実施

上限2.7千万円/都市 定額補助 上限1.7千万円
定率補助 (1/2) 上限1千万円

①経済・社会・環境の三則面の統合的取組による相乗効果の創出

②自律的好循環の構築

③多様なステークホルダーとの連携

自治体SDGs推進関係省庁タスクフォースによる省庁横断的な支援

計画策定

○選定都市の事業計画策定への支援
○各省庁支援施策活用等の助言

事業実施

○各省庁支援施策を選定都市に集中投入
○取組状況フォローアップの評価基準作りへの参画

成功事例の普及展開

選定都市の成功事例を国内外へ情報発信

- ・イベントの開催
- ・幅広い世代向けの普及啓発事業 等

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



2030年

持続可能なまちづくり

西条市の特性と2030年のあるべき姿

経済

一次産業から三次産業までバランスよく集積し
四国屈指の産業都市として発展している
【政策課題】 産業活力の維持、産業人材不足の解消

社会

市民の都市への愛着度が高くホスピタリティに満ち溢れ
近年では移住者の聖地として注目を集めている
【政策課題】 地域コミュニティの持続的維持、市民の健康寿命延伸

環境

直線距離で約20km、標高差2,000mの間に日本列島の自然が凝縮されており
豊富な地下水資源や石鎚山系独自の固有種などの貴重な資源（財産）にめぐまれている
【政策課題】 石鎚山系の森林資源および生態系の保全、地域公水としての地下水の持続的維持

三側面がバランス良く調和した西条市
人口減少が進む中、これらを持続化していくことが重要課題

豊かな自然と共生し
人がつどい、まちが輝く、快適環境実感都市

西条市SDGsモデル事業の概要（三側面）

LOVE SAIJOポイントを介して「ヒト」と「活動」が好循環するまち西条創生事業 ～「西条市SDGs×西条市DX」の推進による地方創生の実現～



経済

- (1) 次世代を見越した「産業イノベーション機能」の強化
- (2) 地域企業の採用力強化を図る「まちの人事機能」の確立
- (3) 活動人口増加の核となる「移住フルサポート機能」の確立
- (4) (仮称)ひと・夢・未来創造拠点複合施設の開設



本市の強みを活かした活動人口獲得と産業イノベーション



本市の特性を活かしたカーボンニュートラル社会の実現

全国初の市民総参加で トレードオフ解消を図る仕組み

- 「LOVE SAIJOポイント」と連動して取組を展開
- 「SDGsingメーター」を開発して達成度を可視化



市民一人ひとりの行動を可視化

西条市全体のSDGs達成を可視化

MYメーター(上)と西条市メーター(下)イメージ



- (1) 豊かな水と森林を守る事業 (MIZUMORI事業)
- (2) ライフスタイルの変革による脱炭素社会推進事業 (戸建住宅におけるネット・ゼロ・エネルギー・ハウス (ZEH) 化の推進)
- (3) ポイント寄附を通じた自然観察会、ワークショップ、アウトドア体験によるESD推進

環境

社会



- (1) ポイントを活用した若者参加型による持続可能な高齢者見守りサービス事業
- (2) ポイントを活用した地域モビリティサービス再構築事業
- (3) SDGsingメーターとの連動によるわくわく健康ポイント横展開事業



若者と高齢者が融合して持続可能な地域を実現



市民総参加で持続可能な自然環境を再生





**SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS**

西条市は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています